

第44期 第2四半期 株主通信

2021.4.1～2021.9.30

次世代へ快適な環境を。
人が暮らし、集う場所に
サニックス。



ネットでアンケートご協力のお願い

株主の皆様からのご回答を今後のIR活動の参考にさせていただきます。

(アンケートの方法は、裏面に記載しています。)

SANIX

株式会社サニックス

証券コード:4651

トップインタビュー



株主の皆様には、平素よりご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の収束と、皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

さて当社第44期第2四半期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)における業績のとりまとめを終えましたので、ここに「第44期第2四半期株主通信」をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

代表取締役社長

宗政 寛

Q 当第2四半期の市場環境、決算のポイント等について教えてください。

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が継続される地域もある中、段階的に経済活動再開に向けた政策が講じられるなど、回復に向かっていく業種もあると思います。先行き不透明な状況が続いていることから当社グループでは感染拡大の防止を最優先としながら各事業を継続してまいりました。

売上高につきましては、HS事業部門、ES事業部門は堅調に進捗してきました。一方で、SE事業部門ではFIT制度改定の影響を受け太陽光発電システムの施工売上が減少し、環境資源開発事業部門のサニックスエナジー 苫小牧発電所が4月に2年に一度の法定点検で稼働を停止していました。これに加えて会計方針の変更の影響もあり、全体では減収となりました。利益につきましては、SE事業部門の売上高減少による影響と、環境資源開発事業部門の苫小牧発電所の法定点検等に伴う修繕費を計上したことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はそれぞれ減益となりました。

決算ハイライト

売上高

23,145百万円 (前年同期比 3.4%減)

営業利益

589百万円 (前年同期比 64.6%減)

親会社株主に帰属する四半期純利益

132百万円 (前年同期比 90.6%減)

Q いよいよ中計最終年度に突入しましたが、これまでの進捗評価と、今後の取り組みについてお聞かせください。

現中期経営計画では、次の経営課題を掲げ、取り組んできました。コロナ禍による影響はありましたが、全体的にはおおむね順調に進捗していると思います。

経営基盤の強化として、「設備・システム投資等による業務省力化、効率化の推進」は、基幹システムのリニューアル等を推進し、省力化に努めてまいりました。今後はさらなる成長に向け投資を行う予定です。

やりがい、働きがいの向上として、「お客様に満足いただけるサービスを提供するための、専門家集団への進化と人材の育成・確保」は、コロナ禍において通常の採用・研修活動が制限されたものの、工夫を凝らすことにより、人材育成を継続的に、より効率的に行うことができました。

また、「従業員が高いモチベーションで業務を行える環境づくり」は、有給休暇の半日取得や新型コロナウイルスの感染拡大を契機に導入した在宅勤務の制度化などを行いました。

また、新型コロナウイルスが収束しても、世の中が以前の状態に完全に戻ることはありえないと考えています。そのため、コロナ禍で実施した感染拡大防止のためのさまざまな工夫や努力、在宅勤務等の新しい働き方を今後もしっかりと継続、発展させることが必要であると感じています。

お客様満足の向上として、「新事業・新サービスへの積極的な取り組みによる将来の成長領域の開拓」は、エネルギー事業部門において、他社との提携によるビジネスモデルづくり、環境資源開発事業部門においても、汚泥からバイオマス燃料製造の実証試験開始など、新たな取り組みを推進しております。

そして、「強みである営業力と顧客基盤を活かした既存事業の拡大」については、HS事業部門では、現中期経営計画期間において営業拠点を6箇所、人員を143名増やし営業力の強化に努めてまいりました(2021年9月末現在)。11月には、八幡営業所(福岡県)、12月に福岡西営業所を開設し、今後も積極的に出店をしていきたいと思っています。さらに、「アライアンスを密にした新規先開拓の強化」に取り組み、法人との業務提携も積極的に進め、提携先の数が増加しております。

中期経営計画(2019年度～2021年度)の課題



トップインタビュー

Q 脱炭素社会が叫ばれる中、今後事業を通じて社会へいかなる価値を提供していきたいとお考えですか？

環境問題への取り組みがいよいよ実行段階に入ってきたと感じています。「2050年カーボンニュートラル」及び「2030年温室効果ガス46%削減」宣言、「第6次エネルギー基本計画」閣議決定を受けて、環境への取り組みや再生可能エネルギーへの関心、ニーズが高まってきていると考えています。

私は、「次世代へ快適な環境を」を企業理念にもつ当社がこれまで継続してきた事業は世の中に必要とされている分野にあり、社会に最大限貢献できるタイミングが来たと思っています。

住環境領域においては、住宅・建物の長寿命化、エネルギー領域においては、再エネの拡大、そして資源循環領域においては、廃棄物の再利用という「価値」を社会に提供していくという思いを強くもっております。当社グループ一丸となって、価値提供を通じてさらに社会へ貢献するべく果敢に挑戦してまいります。

Q 下期の見通しについて教えてください。

下期については、SE事業において、世界的な半導体不足や、太陽光発電に関連する各種原材料価格の高騰など、部材調達において不安定な状況が続いていることから、太陽光発電における原価増を見込んでいます。また、新電力事業においても、10月に入り電力市場(JEPX) 価格が想定以上に上昇してきており、冬期にかけて更に高騰する見通しがあることから電力調達原価の増加を見込んでいます。

これらの下期の市場環境を踏まえ、業績予想を下方修正することといたしました。

右記の表及び説明資料をご参照ください。

決算説明資料はこちら▶

https://sanix.jp/report/639/report_639_712.pdf



Q 株主還元方針など、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

2022年3月期の中間配当につきましては、利益剰余金がマイナスであることから、誠に遺憾ながら、無配とさせていただきます。株主・投資家の皆様には、大変申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

現在、次期中期経営計画の策定に向け準備を進めています。現中期経営計画の当初の課題に対して一定の成果が実を結んだと考えている一方で、外部環境の変化もあり、次期中期経営計画に向けた課題も浮き彫りになってきました。

当社グループが目指すべき、「次世代へ快適な環境を」を核として、次期中期経営計画は、2030年に向けての第1段階として、現中期経営計画で取り組んできた基盤固めをより強固なものとし、新たな投資を視野に入れるような計画にしたいと思っています。

皆様にご期待されるように、当社グループ一丸となって、これからも企業価値向上への取り組みを行い、早期復配を目指してまいります。

株主の皆様には今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

通期業績予想修正について

(単位:百万円)

	前回発表予想(A)	今回修正予想(B)	増減額(B-A)
売上高	49,730	50,318	588
営業利益	2,396	1,827	△569
経常利益	2,166	1,621	△545
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,540	819	△720

トピックス

2021年

4月

- 電力の環境価値オプションメニュー「プラスゼロ」販売開始
- プラスチック発電でCO₂フリーの環境価値を提供
- HACCP導入支援サービス開始
- プラスチックの資源循環型発電事業
～苫小牧発電所の火入れから20年目に突入～

5月

- 笠岡工場で完全自家消費型太陽光発電が運転開始
- 大容量ポータブル蓄電池・専用太陽光パネルを販売へ

6月

- 日野工場に完全自家消費型太陽光発電導入
- Carbon to X(CO₂を新たな価値に)共創プロジェクトへの参画
- 研修施設に自家消費型太陽光発電導入
- CO₂排出量を低減したい企業様へ電力の環境価値オプションメニュー「プラスゼロ(フラット)」登場

7月

- 太田工場・袖ヶ浦工場に完全自家消費型太陽光発電導入
- 経済産業省 令和3年度補助金事業「分散型エネルギーリソースの更なる活用に向けた実証事業」への参画

8月

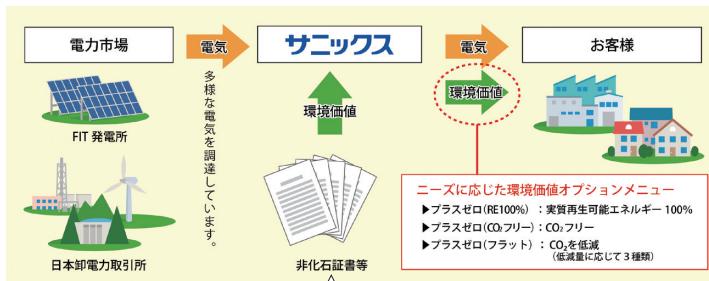
- 歴史的施設における蚊の駆除対策を実施～福岡縣護国神社「お盆みたままつり」の安全開催に向けて～
- 第6回無担保社債(SDGs推進私募債)発行
- ひたちなか工場に完全自家消費型太陽光発電導入

9月

- 岡崎工場に完全自家消費型太陽光発電導入

電力の環境価値オプションメニュー「プラスゼロ」販売開始 ～脱炭素社会の実現へ向けて～

電力プランに組み合わせる環境価値のオプションメニューの販売を開始。電力小売り事業において、再生可能エネルギー100%、CO₂排出量ゼロを実質的に実現するものであり、脱炭素社会の実現に向けた需要拡大に対応。



非化石証書とは、電気の持つ「環境価値」を証書化したものです。プラスチックの再生燃料専焼の苫小牧発電所(株)サニックスエナジーでは、当社で回収・燃料化した廃プラスチックを燃料として使用し、発電した電気に「非化石証書」が発行されます。電気のCO₂排出量がゼロとみなされ、年間販売見込約200GWh分の非化石証書により、約9万4,000トンのCO₂をオフセットできることになります。

自社工場に完全自家消費型太陽光発電の導入を拡大中

環境負荷の低いエネルギー普及を推進する企業として、まずは2021年度中に8箇所へ設置。CO₂排出削減はもとより、自家消費型太陽光発電のモデルケースとして、ここで得られるデータを太陽光発電事業にも生かす。

サニックスグループ 環境資源開発(廃棄物・リサイクル)関連施設

- プラスチック資源開発工場
- ◆ 発電所
- ▲ 有機廃液処理工場
- ▼ 最終処分場

■ 2021年度に完全自家消費型太陽光発電設備導入予定

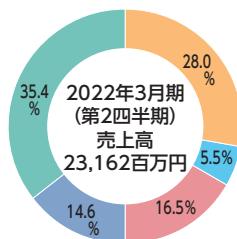


当第2四半期 営業の概況

新型コロナウイルスの感染拡大防止を最優先としながら、住環境/エネルギー/資源循環の各領域でしっかりと事業を継続し、快適な環境づくりに資する価値創出に努めてまいりました。

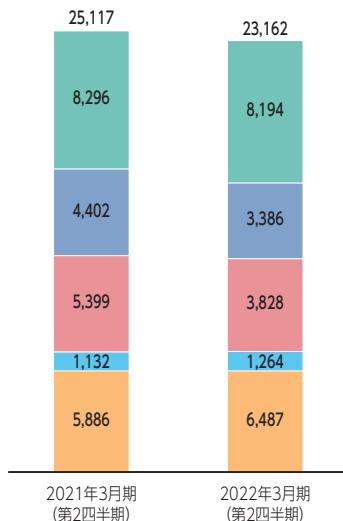
●セグメント別売上高構成比

■ HS事業
 ■ ES事業
 ■ SE事業
■ エネルギー事業
 ■ 環境資源開発事業



●セグメント別売上高

(単位:百万円)



※連結売上高は5つの事業セグメントの合算数値です。調整額は控除していません。

住環境領域

「快適な住環境を次世代につなぐのが当たり前の社会」

HS (ホーム・サニテーション) 事業



売上高 **6,487**百万円

営業利益 **1,394**百万円

事業内容

一般家庭向けの環境衛生に係る施工等、具体的には白蟻防除施工や基礎補修工事、床下・天井裏換気システム施工等を行っています。

当第2四半期の営業概況

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の地域では新規訪問営業を自粛し、その他では感染防止対策を徹底した上で通常営業。「白蟻防除施工」は前年同期比3.2%増、「床下・天井裏換気システム」は同9.7%増、「基礎補修・家屋補強工事」は同23.7%増となり、売上高は6,487百万円(同10.2%増)となりました。営業損益は施工効率の改善等もあり、1,394百万円の営業利益(同19.3%増)となりました。

ES (エスタブリッシュメント・サニテーション) 事業



売上高 **1,264**百万円

営業利益 **121**百万円

事業内容

企業向けの環境衛生に係る施工等、具体的には、ビル・マンション等の建物給排水設備維持保全施工等を行っています。

当第2四半期の営業概況

人員増加や新規出店により業容を拡大し、建物オーナー及び管理会社等提携先との関係を強化。「建物防水塗装補修施工」が前年同期比0.8%減となるも、主力商品の「防錆機器取付施工」は同14.1%増、「給排水補修施工」は同13.8%増となり、売上高は1,264百万円(同11.7%増)となりました。営業損益は固定費増を増収で吸収し、121百万円の営業利益(同1.8%増)となりました。

エネルギー領域

「環境負荷の低いエネルギーが当たり前の社会」

SE (ソーラー・エンジニアリング) 事業



売上高 **3,828**百万円

営業利益 **△294**百万円

事業内容

産業用及び住宅用太陽光発電システムについての販売・施工、また太陽光発電システム機器類の卸販売を行っています。

当第2四半期の営業概況

「太陽光発電システム」がFIT制度の改定による投資目的案件減少の影響を受け、FIT対象の施工が減少し前年同期比28.5%減となりました。この結果、売上高は3,828百万円(同29.1%減)となりました。営業損益は売上高減少による影響が大きく、294百万円の営業損失(前年同期は233百万円の営業利益)となりました。

エネルギー事業



売上高 **3,386**百万円

営業利益 **△124**百万円

事業内容

法人・一般家庭向けの新電力事業を行っています。また、一般家庭向けの太陽光発電第三者設置(PPA)モデルの販売・施工を行っています。

当第2四半期の営業概況

PPAモデルは前年同期比7.7%増となるも、苫小牧発電所から新電力事業を介さずに直接外部へ卸販売する商流への変更、収益認識会計基準等の適用により新電力事業は同24.8%減となり、売上高は3,386百万円(同23.1%減)となりました。営業損益は電力調達単価の上昇や、PPAモデルの事業拡大に向けた人員増に伴う費用増加により、124百万円の営業損失(前年同期は33百万円の営業損失)となりました。

資源循環領域

「捨てないのが当たり前の社会」

環境資源開発事業



売上高 **8,194**百万円

営業利益 **1,207**百万円

事業内容

産業廃棄物として回収した廃プラスチックを加工し、それを燃料とした売電事業を行っています。また、外食産業や食品工場等から排出される有機廃液を受け入れ、処理しています。

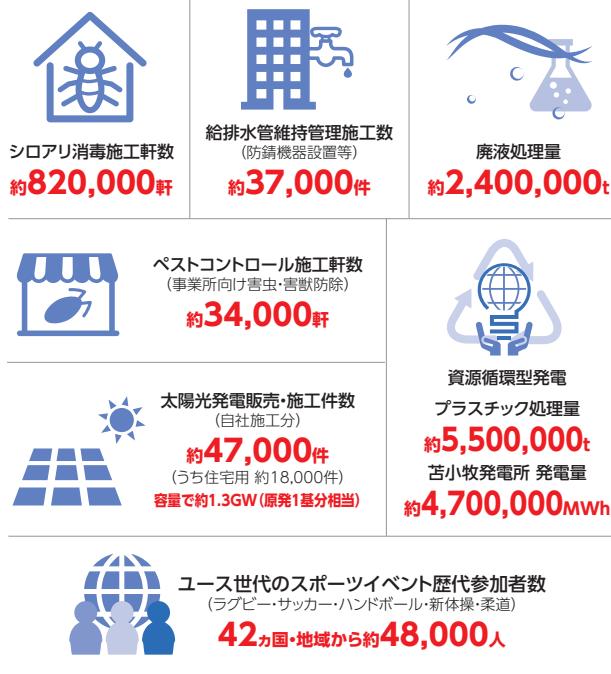
当第2四半期の営業概況

廃棄物受入増加により「有機廃液処理」は前年同期比9.6%増、「埋立処理」は同10.8%増の一方、処理単価の下落により「プラスチック燃料」は同0.8%減となりました。また、苫小牧発電所の法定点検に伴う稼働停止により「発電所売上」が、同10.2%減となり、売上高は8,194百万円(同1.2%減)となりました。営業損益は当点検による減収及び修繕費の計上により、1,207百万円の営業利益(同38.9%減)となりました。

サニックスのESG

当社グループは、事業活動によるお客様への価値提供を通じて社会課題の解決を図ることを価値創造モデルとしており、このビジネスモデルによって、「次世代へ快適な環境を」という企業理念を実現してまいります。

数字で見るサニックスグループ (2021年9月末現在)



有事における社会貢献活動

2021年8月の豪雨を受け、8月23日～9月16日、武雄工場社員延べ58名が、佐賀県武雄市の災害ボランティアに参加しました。新型コロナウイルス感染防止のため、参加者は佐賀県在住者に限られ、事前に抗原検査で陰性を確認。床下の泥除去や、柱・壁の洗浄、廃棄物の運搬などを行いました。



武雄工場 山下工場長より

ボランティアセンターの方から、「平日の参加は人数が集まらない中で連日参加いただき、とても助かります」とのお言葉を頂きました。休日には、個人的に参加していた社員もいました。武雄工場ができて30年。地域の一人として、地域の被災者の方の手助けができ、よかったですと思います。

ラグビー部「宗像サニックスブルース」のご紹介

かねてよりスポーツ支援・スポーツ振興を通じた地域貢献を大切にする当社では、ラグビー部「宗像サニックスブルース」を擁し、当ラグビー部による地域清掃などを行っています。

なお来年1月からは、日本最高峰のリーグ「JAPAN RUGBY LEAGUE ONE」がいよいよスタートします。皆様からの熱い声援・ご支援を何卒よろしくお願いたします！



「宗像サニックスブルース」公式HP
<https://rugby.sanix.jp/>



地域清掃活動

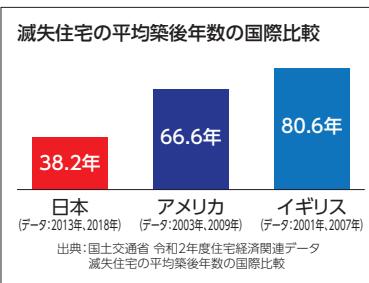
今年6月以降、週1～2回、早朝から地域(宗像市)での活動を行っています。グラウンド裏の海岸から、最寄りのJR各駅周辺、宗像市役所、道の駅ひななかた、宗像大社など既に20回実施しています(9月末現在)。清掃中の挨拶など、地域の方とのコミュニケーションも図れています。いつも応援していただいている皆様への感謝の気持ちも込めて、これからも継続していきます。



100年住める住宅を目指して

HS事業は創業以来取り組んできた、サニックスの原点となる事業です。近年は顧客数増加を重要なテーマに据え、新規営業により新たなお客様を増やすとともに、既存のお客様との信頼関係の強化およびリピート率の向上に努めています。

現在の住宅市場では「フロー」から「ストック」へと価値観が移行し、建て替えではなくきちんとメンテナンスを行い、長く住める住宅として維持する傾向にあります。当社としては、住宅の状態を定期的に確認するビジネスモデルを生かし、お客様のライフサイクルや住宅の状態に合わせた最適な提案ができる企業を目指します。



顧客基盤の形成フロー



主な商品・サービス

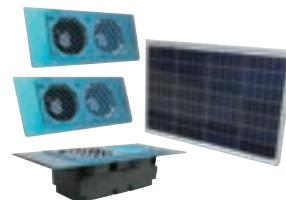
シロアリ防除システム

シロアリの習性を熟知したスタッフが、予防から駆除まで、適切に対応。豊富な経験と実績で培われた専門技術とノウハウ、万全のアフターサービスにより、大切なマイホームをシロアリの被害から守ります。



床下・天井裏換気システム

太陽光を利用した床下・天井裏換気扇が、床下・天井裏の湿気を追い出し、風の通り道をつくります。換気効果を高める拡散ファンや床下調湿材もとりそろえ、心地よい暮らしを実現するとともに、住まいの耐久性を高めます。



基礎補修工事

基礎コンクリート表面に、アラミド繊維シートをエポキシ樹脂で貼り付け、繊維強化プラスチック(FRP)を形成することで、基礎のひび割れを補修するとともに、劣化進行の抑制に寄与します。



家屋補強システム

床下、天井裏の主要接合部を金物で補強することにより、家屋の耐震性・耐久性を向上させるサニックス独自のシステム。大掛かりな壁工事を行わず、工期短縮を実現しました。



住まいのリフォーム

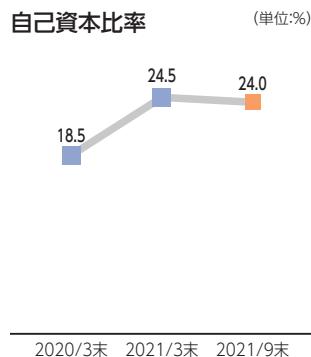
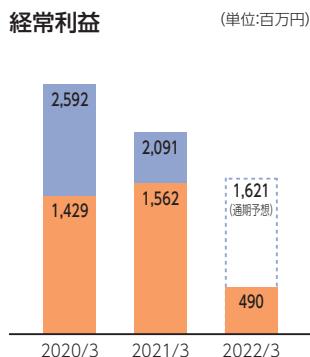
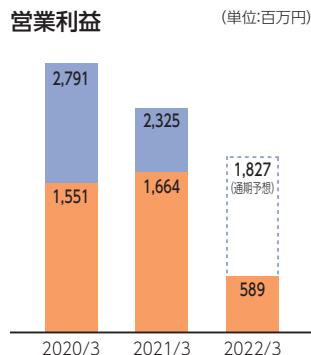
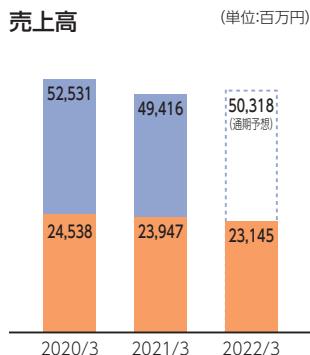
水回りの改善やバリアフリー化、外壁・屋根・クロス等のリフレッシュ、耐震改修工事など、ライフスタイルやご要望に合わせた快適リフォームをご提供します。

決算ダイジェスト

会社概要／株式状況

2022年3月期 第2四半期の連結業績

(2021年4月1日～2021年9月30日) ■ 第2四半期 □ 通期



会社概要 (2021年9月30日)

商号	株式会社サニックス (英文名 SANIX INCORPORATED)
本社所在地	福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号
設立	1978年9月
資本金	140億4,183万円
社員数	2,081人(連結)

役員 (2021年9月30日)

代表取締役社長	宗政 寛
取締役専務執行役員	梅田 幸治
取締役常務執行役員	井上 公三
	稲田 剛士
	水川 浩一
	金子 賢治
	増田 道正
	田畑 和幸
	武井 秀樹
取締役	高木 哲夫
取締役・監査等委員(常勤)	上野 宏一
取締役・監査等委員(社外)	近藤 勇
	金子 直幹
	久保田 康史
	安井 玄一郎
	馬場 貞仁

(注) 近藤 勇、金子 直幹、久保田 康史、安井 玄一郎、馬場 貞仁は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

株式の状況 (2021年9月30日)

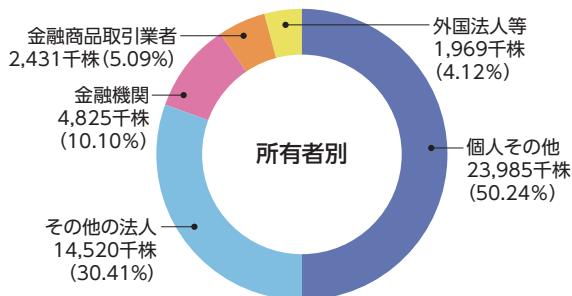
発行可能株式総数	163,500,000株
発行済株式総数	48,919,396株
株主総数	15,627名

大株主

氏名または名称	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社バイオン	8,716	18.23
宗政 寛	6,454	13.50
光通信株式会社	3,008	6.29
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,929	6.12
一般社団法人サニックス共済会	1,700	3.55
サニックス社員持株会	1,073	2.24
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	567	1.18
株式会社西日本シティ銀行	536	1.12
KOREA SECURITIES DEPOSITORY-EBEST	498	1.04
株式会社SBIネオトレード証券	493	1.03

※持株比率は自己名義株式(1,114,838株)を控除して計算しております。

株式分布状況



※持株比率は自己名義株式(1,114,838株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会議決権の基準日	毎年3月31日
剰余金配当の基準日	毎年3月31日、6月30日、 9月30日、12月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-288-324(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所第一部、 福岡証券取引所
電子公告 公告掲載URL	https://sanix.jp
公告の方法	ただし、電子公告によることができない 事故、その他のやむを得ない事由が生じ たときは、日本経済新聞に公告いたし ます。

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(みずほ信託銀行)にお問い合わせください。なお、みずほ信託銀行及びみずほ証券全国各支店にでもお取次ぎいたします。

シロアリや湿気の害からマイホームを守ります。

見えないところだからこそ、定期的なチェックをお勧めします。

まずは

床下調査(無料)でお住まいの健康をチェック!

お客様のご都合に合わせて、サニックスの専門スタッフが伺います。
日時の指定ができますので、お気軽にお申し付けください(日曜・祝日の調査も可能です)。



床下調査

床下収納庫や和室の畳を上げて入ります。



結果報告



ご提案・お見積り
調査・お見積りは無料です。



責任施工
(有料)



シロアリ消毒
安心保証(5年間)

お客様相談室(通話料無料) ☎ 0120-39-3290 受付時間 8:30 ~ 17:30(土日祝も承っております)

株主アンケートご協力をお願い

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただくため、WEBアンケートを実施いたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから2021年12月31日(金)までになります。

アクセス方法

パソコンから

下記のURLからアクセスいただけます。

<https://q.srdb.jp/>

スマートフォン・携帯電話から

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからアンケート画面へアクセスいただけます。



メールから

enq@q.srdb.jpへ空メールをご送信いただき、自動返送されるアンケート回答用のURLからアクセスいただけます。

株式会社サニックス

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号

TEL.092-436-8870

URL.<https://sanix.jp>

サニックス

検索



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。